



病院だよい

第31号

新城市民病院広報委員会

新城市字北畑32-1

Tel 0536-23-7852 (総務課)

Fax 0536-22-2850 (総務課)

新型インフルエンザ対策 に御協力ください

院内へ入る前に手の消毒を！

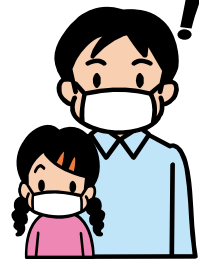
院内には透析や糖尿病などの患者さんや妊婦さんなど、新型インフルエンザにかかるると重症化する恐れがあるといわれている方が多くいらっしゃいます。

そこで、病院に来られる皆さんにお願いです。正面玄関、時間外入口ともに消毒液を用意してありますので、入る前に手の消毒を実施してください。



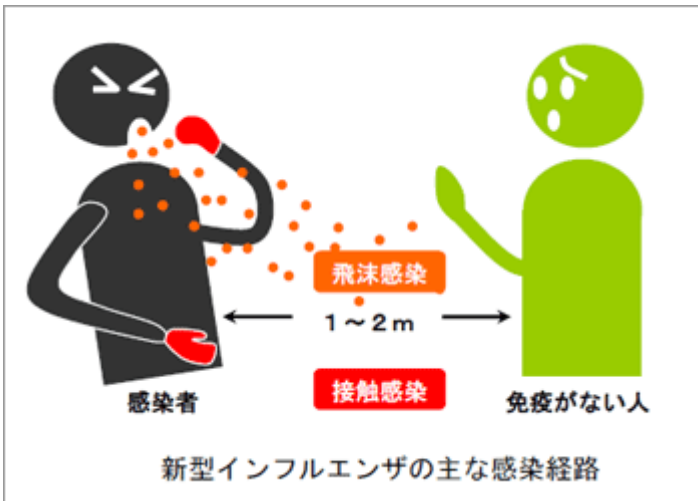
消毒液はワンプッシュで1回分
指の先から手首までしっかり
乾燥するまで擦り込む
水で洗い流さずそのまま

発熱・せきなどの症状の方は必ずマスクを！



発熱やせき、くしゃみ、のどの痛みなどの症状がある方は必ずマスクをしてください。マスクは新型インフルエンザの主な感染経路となっている飛沫感染を防ぐ効果的な手段です。

発熱などの症状で市民病院へ受診される場合には、必ずマスクをして来院し、総合受付で御相談ください。



厚生労働省ホームページより

梅雨の時期には

熱中症に気を付けましょう

熱中症は、梅雨の合間に突然気温が上昇した日や、梅雨明けの蒸し暑い日などが暑さに慣れていないときに起こりやすくなっています。熱中症は、死に至る恐れもありますので注意が必要です。

熱中症の危険信号

- ・ 高い体温
 - ・ めまい、失神
 - ・ 頭痛、吐き気
 - ・ 意識障害、けいれん
 - ・ 大量の発汗
- ・ 体はとても熱いが汗をかいていない



熱中症になってしまったら

まずは涼しいところへ避難させましょう。できるだけ早く体温を下げる必要がありますので、衣服を脱がせ、皮膚に水をかけ、水のうで脇の下や太ももの付け根などを冷却させましょう。



水分を自分で摂取できるようなら、冷たい水を与え、体内の熱を下げましょう。大量の発汗があった場合には、スポーツドリンクや食塩水などで塩分も補給することが有効です。

資格取得しました！

日本糖尿病療養指導士

糖尿病患者数は年々増加の一途をたどり、神経障害などの重い合併症を発症される患者さんも増加しています。

糖尿病治療の大きな目的は、「合併症の予防」と「進展の阻止」です。

糖尿病の治療は自己管理がとても重要で、「食事療法」や「運動療法」に加え、薬の服用、インスリンの自己注射、血糖自己測定など多くのことを管理しなければならず容易ではありません。

そこで、「日本糖尿病療養指導士」の資格を持ったスタッフのサポートがポイントとなります。

今回、市民病院では外来看護師の3人がこの資格を取得しました。患者さんが自己管理の質を下げることなく糖尿病治療を継続して行えるよう、きめ細やかなサポートをしてまいります。



日本糖尿病療養指導士の資格を取得した看護師3人（左から前沢、楠、中野）

毎週開催しています

糖尿病教室

糖尿病の自己管理を継続して取り組むために糖尿病教室を御活用されてみてはいかがでしょうか。

市民病院では毎週金曜日、2階外来研修室で糖尿病教室を開催しています。

医師をはじめ、日本糖尿病療養指導士の資格を持つ看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師、理学療法士などが講師を務めます。

糖尿病の基礎知識はもちろん、糖尿病治療の3本柱である食事療法・運動療法・薬物療法についての解説や、日常の生活でのワンポイントアドバイスなどを行っています。

糖尿病教室はごなたでも予約なしで御参加いただけます。

また、糖尿病の合併症に対する足のケアについては、皮膚科外来で診療を行っています。こちらには予約制となっておりますので、事前の御予約をお願いします。

糖尿病教室

日時：毎週金曜10:00~11:00
場所：2階 外来研修室
※ 詳しくは内科外来まで
電話0536-22-2171（代表）



足（フットケア）外来

日時：毎週火曜午後~（完全予約制）
場所：2階 皮膚科外来
※ 詳しくは皮膚科外来まで
電話0536-22-2171（代表）

糖尿病教室の様相



6月19日に開催された糖尿病教室の様相です。

家族はもちろん、医師や看護師などと一緒に目標を達成しましたよという内容のお話でした。



糖尿病教室のスタッフたち

